

東京外国語大学国際日本研究センター
社会言語部門主催 講演会

言語喪失と言語学の反応 ～琉球諸島のケース～

講演者：パトリック・ハインリッヒ氏（獨協大学准教授）

日時：2011年1月28日（金） 18:15～19:45

会場：東京外国語大学府中キャンパス
本部管理棟2階 中会議室



<Patrick HEINRICH>

ドイツ、デュッセルドルフ大学出身。2006年デュイスブルグ
エッセン大学教授代任、2008年から一年間琉球大学に研
究員として籍を置き、琉球諸島各地をフィールドワークする。
2009年から現職。専門は社会言語学、言語学。

現在、琉球諸語はかなり危機的な状況にあるといえる。琉球諸島における言語シフトが、1950年代から家庭内や近隣での言語使用領域でもおきていたにも関わらず、危機言語研究や言語記録保存が比較的遅かったこともその要因であろう。本発表では琉球諸語記録保存の研究アプローチの代表的な業績を紹介し、琉球諸語の研究課題と記録保存の責務を明らかにする。琉球諸語学研究や記録保存を、国際的レベルに高めるために、今後琉球諸語の研究や記録保存の範囲をひろげていくことが必要であることを論じたい。

★国際日本研究センター 社会言語部門：坂本恵・河路由佳・降幡正志・前田達朗★



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ
西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分、
「東京外国語大学前」下車

お問い合わせ

東京外国語大学 国際日本研究センター

電話: 042-330-5794

メール: info-icjs@tufs.ac.jp

**国際日本
研究センター**
International Center
for Japanese Studies